

東北関東大震災 あなたの力が万人の為に！！



【松島海岸診療所 カルテを1枚1枚拭いています】

震災の大学生、
「ボランティアがしたい」

3月20日第6学区支部の班長さんより「知人が毛布を協力してくれると今から孫が自転車で届けます」と電話が入りました。
届けてくれたのは福島の大学生ふたりでした。孫の友人は震災に会い、一緒に鶴岡に来ました。一人は、「黙ってはられない、何かできるボランティアがないか」といってくれ、早速対策本部に情報をいれました。頼もしい言葉に元氣付けられました。

協立病院職員が
継続支援に入る

3月23日に協立病院から放射線技師五十嵐隆文さん、薬剤師五十嵐康郎さんが宮城・坂総合病院へ支援に向かいました。27日まで支援に入る予定です。18日から放射線支援に入っている阿部和志さんとの交代も兼ねていました。

塩釜に入るとこれまで走っていた仙台とは雰囲気が変わり、まわりは泥、車道脇には流されてきたと思われる車が一列に並んでいました。画像とは違い目の前の悲惨さに言葉ができませんでした。
(同行…本間司協立病院病棟事務)

大山・加茂支部から

救援物資、募金

そくそく寄せられる！！

かつて新潟地震で大きな被害を受けた全国から支援を受けた大山・加茂地区からは、毛布120枚、タオルケット50枚、コンロ、ガスボンベ、ホットカイロ、文具、飲み物、と募金11万円ほど寄せられました。ある方は、「あの時家が全壊し支援を受けたので」と1万円募金する方もありました。



【松島海岸診療所での作業】

物資・救援カンパ

衛生用品（子ども用マスク・紙オムツ・トイレレットペーパー・尿とりパット）靴下・下着など（いづれも新品）ほか。まだ支援物資が足りません。連絡いただければ取りにうかがいます。

ボランティア募集

救援物資の整理、発送準備、回収作業などに人手が足りません！協力して頂ける方は

組織部 TEL22・5769まで。